



# 天橋立 名松リバーズだより

No. 2  
2005年2月発行

編集・発行  
天橋立名松リバーズ  
実行委員会・事務局

事務局  
〒626-0001  
京都府宮津市文珠437  
天橋立総合事業(株)内  
TEL 0772(22)5304  
FAX 0772(22)5305  
<http://www.tango.or.jp/re-birth/>

## 天橋立名松リバーズフォーラム開催 (2月1日) 大雪の中、市民250人以上参加

### 名松リバーズ(再生)に 関心、高まる!

去る2月1日、当天橋立名松リバーズ実行委員会主催の下、「みやび歴史の館」を会場にフォーラムが開催された。

当日は、今冬一番の大雪の為、参加数が心配されたが、そんな心配をよそに天橋立の松を心配した市民250人以上が駆けつけ、会場はほぼ満席となりました。会場前には倒木した松、会場内には22枚の写真パネルも展示し、多くの参加者が見入っておられました。



速石副実行委員長総合司会の下、開催され、最初に西川創作部会長が力強く開会宣言、次いで今回のフォーラムの後援をいただいている京都府丹後広域振興局長 中村彰氏、宮津市長 徳田敏夫氏、京都府丹後土木事務所長 松田康雄氏からご挨拶をいただく。セレモニーの後は、早速、小川真先生(生物環境研究所長・農学博士)による「何故、松が倒れたのか」をテーマとした基調講演。先生はとつてもお話が判りやすく、スライドも活用され大好評でした。

次いで、パネルディスカッション(その前に、これまでの名松リバーズ取り組みのスライド上映)『ものを描く人』画家の斎藤吾朗氏、『ものを書く人』作家・NPO「ハマには浜を!」理事長の山崎洋子氏、『地域を創る人』天橋立アート&クラフトフェア実行委員長の内井一雄氏、『人の輪を作る人』地域の若者代表の森美忠氏、コーディネーター



幾世淳紀実行委員長でパネルディスカッション。開催に先立ち、趣旨を細井ビジョン部会長が説明。その後、1時間30分にわたり活発な討議がされた。会場からも、名古屋から駆けつけていただいた「だれでもばんぱく協会」世話人の竹内正美氏から、貴重な意見が発表された。  
幾世実行委員長のまとめの後、細井部会長から天橋立名松リバーズ宣言(左記)が発せられ、会場全員で熱い拍手の下、採択された。

#### 天橋立名松リバーズ宣言

- 一、雄大な自然の中に、人と松がすこやかに生きる空間を、ここ天橋立に創りだそう。
- 一、災害の経験を糧として、ここ天橋立を未来に残し、地球環境の危機を告げる警鐘の地としよう。
- 一、日本三景、天橋立の白砂青松をとり戻し、地域の大きいなる財産を子孫に伝えよう。

平成十七年二月一日

パネルディスカッション終了後、石川総務広報部会長による「リバーズ基金」の趣旨説明がなされた。

その後、「国際ソロプチミスト宮津」勝山比登美会長から今回のリバーズ基金に賛同し、金壱百萬円を寄附するとの申し出をいただいておりますので、贈呈式を行う。



実行委員会メンバー一同、感謝感激すると共に、身が引き締まる思いでその責任を痛感する。「国際ソロプチミスト宮津」のみなさん、大金をありがとうございます。一円も無駄にすることなく、名松リバーズの為に活用させていただきます。

閉会のことばは、「天橋立を守る会」森会長より、本日のお礼と今後のリバーズ事業の展開について力強く締めのごとば。

会場の外では、しんしんと大雪が降る中、会場内は終始一貫、天橋立を愛する人たちの熱気につつまれていました。今回のフォーラムを実質的に取り仕切った細井央部会長、本当にご苦労さまでした。

京都新聞

### 台風23号で倒れた天橋立のマツ 文化財修復に再利用

昨年十月の台風23号で倒れた天橋立(宮津市)のマツを文化財修復に再利用する。京都府教育委員会は、文化財保護課と連携し、倒れたマツの再利用を推進している。また、松の再利用を推進している。



台風23号で倒れ、重文建築物の一部として生まれ変わるようになった天橋立のマツ(京田辺市大住・深井家住宅)

「しんがしかりして、目の詰ったとも良い材料と話している。天橋立のマツは、ほかにも同市大住にある重要文化財「大住家」でも利用が計画されている。

## 松の再生は地域の再生

### 天橋立名松リバース委が宣言

昨年十月の台風23号で倒れた天橋立(宮津市)のマツを文化財修復に再利用する。京都府教育委員会は、文化財保護課と連携し、倒れたマツの再利用を推進している。



住民参加のフォーラム

天橋立名松リバース委員会が、天橋立の松の再生を宣言した。委員会は、天橋立の松の再生を宣言した。委員会は、天橋立の松の再生を宣言した。



雪の天橋立

天橋立の松の再生を宣言した。委員会は、天橋立の松の再生を宣言した。委員会は、天橋立の松の再生を宣言した。



財JTB観光文化振興基金事務局 久保田 美穂子さん

# 朝日タイムズ

株式会社 朝日タイムズ社  
〒165-0004  
東京都文京区湯島3-1-3  
TEL: 03-3511-7734  
FAX: 03-3511-7777  
http://www.asahi-times.co.jp

## 災害に強い橋立の松へ

### 宮津で「将来」考えるフォーラム

#### 密集避け根強く



災害に強い松並木づくりへの提言をする小川真氏(宮津市鶴賀・みやづ歴史の館)

昨年十月の台風23号で倒れた天橋立(宮津市)のマツを文化財修復に再利用する。京都府教育委員会は、文化財保護課と連携し、倒れたマツの再利用を推進している。

## 海外の事例など紹介

### 「休憩所建築材に」提案



天橋立の松について意見交換するパネリストら

海外の事例など紹介「休憩所建築材に」提案。天橋立の松の再生を宣言した。委員会は、天橋立の松の再生を宣言した。

## 天橋立 台風23号で倒れた193本

# 名松の活用討論



天橋立の松について意見交換するパネリストら

天橋立の松の再生を宣言した。委員会は、天橋立の松の再生を宣言した。委員会は、天橋立の松の再生を宣言した。

掲載記事

### 天橋立名松フォーラム

(2005年2月21日 開催) 毎日新聞

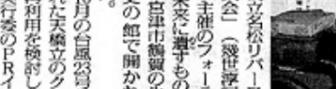
天橋立の松の再生を宣言した。委員会は、天橋立の松の再生を宣言した。委員会は、天橋立の松の再生を宣言した。

天橋立の松の再生を宣言した。委員会は、天橋立の松の再生を宣言した。委員会は、天橋立の松の再生を宣言した。

### 天橋立の松再利用へ

#### 「倒木を町づくりに」

#### 宮津でフォーラム



天橋立の松再利用へ「倒木を町づくりに」宮津でフォーラム

天橋立の松の再生を宣言した。委員会は、天橋立の松の再生を宣言した。委員会は、天橋立の松の再生を宣言した。

### 天橋立の松再利用へ

#### 「倒木を町づくりに」

#### 宮津でフォーラム



天橋立の松再利用へ「倒木を町づくりに」宮津でフォーラム

## 松材管理部会



4m以下の小物

(松井部会長)より

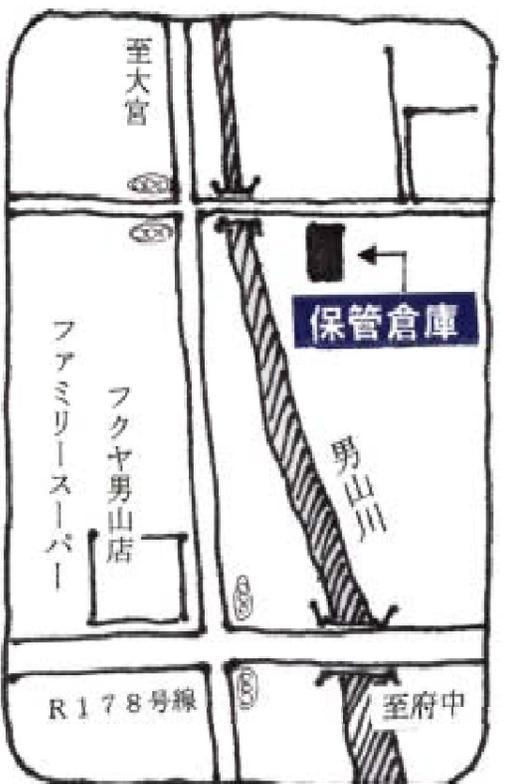
岩滝の倉庫に、倒木した4m以下の小物の松が管理されています。その活用の為、ご覧になりたい方は、いつでも倉庫を見に行ってください。鍵は、事務局までお問い合わせを！

4mクラス



今月中に、ご協力いただきました株式会社YAKIN大江山(日本冶金工業グループ)の倉庫へ搬入する予定です。(株)YAKIN大江山さん、本当にありがとうございます。

## 創作部会



(西川部会長)より

第1回 創作部会が、1月21日(金)開催された。若者を中心に、島村顧問・カルガネ家具の故金さん・クラフト白樺の大野さん・ガクブチの板東さんなど専門家スタッフも含め16名が出席。松材の創作について活発な意見が交わされた。引き続き、第2回は25日(火)に開催され、第3回は、2月14日(月)に予定している。



## ビジョン部会

(細井部会長)より

2月1日開催した「名松リバースフォーラム」の記録集を、できるだけ早く発行する予定です。今後のリバース展開のために是非活用していただきたく思います。

今回のアンケートの集約ができました。ご覧いただきたい方は事務局まで。

## 予告

3月18日(金) 開催予定

テーマ「台風23号の被害解析」

京都樹木医会 会長 伊藤 武先生

詳細は、後日お知らせいたします。できるだけ多くの方の参加をお願いします。

## 総務・広報部会

より

## 事務局

一言メッセージ

谷垣禎一財務大臣、旅行作家 竹村節子氏、作家 森本哲郎氏、旅行ペンクラブ 柳林 修氏からメッセージが、届きました。

リバース基金

口座 京都銀行 宮津支店

普通預金 3825398

京都北都信用金庫 府中支店

普通預金 0999814

口座名義

天橋立名松リバース実行委員会

会計 奥田聖五(おくだ せいご)

1月31日(月)



読売テレビの取材・山崎洋子先生(双龍の松於)



NHKテレビの取材・斎藤吾朗先生(双龍の松於)

明日の「天橋立名松リバー  
スフォーラム」を控え、本  
日から小川・山崎・斎藤・竹内  
各先生方、また東京から、  
(財)日本交通公社主任研究員  
の久保田氏が取材で天橋立へ。  
多忙な一日を予感。

到着後、いつぶくしていただ  
く間もなく、冷雨の中、  
天橋立でNHK・読売テレビ  
などの取材を受ける。  
その後も、天橋立内、近辺を  
視察ご案内。  
休む間もなく、実行委員会の  
役員と懇談、懇親会。  
先生方、本当にお疲れさま  
でした。



2月1日(火)

いよいよフォーラム当日。

しかし、今冬一番の寒波で天橋立は銀世界。  
頭の中も真っ白。参加者のことが気になる。詳しくは別紙。

2月2日(水)

実行委員会の顧問であり、基  
調講演をお世話になった小川先  
生、伊藤先生(京都樹木医会長)  
の紹介で、韓国の農学博士・大  
学教授らが天橋立の倒木松を視  
察、交流。幾世委員長・山本事  
務局長で対応。



2月9日(水)

「ふるさと丹後ビジネスネットワーク」全体交流会(東  
京於)へ、幾世委員長・島村顧問・山本事務局長出席。  
天橋立名松リバーズ事業につい  
て趣旨説明、報告。  
席上、東京丹後人会 石河順一  
理事長と個別懇談し、今後、よ  
り連携、交流していくことを決  
定。  
又、クラブツーリズム(株)齊  
藤顧問より、リバーズを取材し  
たい旨、申し出を受ける。



## 松の根っこを残そう!

松の根っこを保存する  
ことはその生態を知る  
上にも、又、教育的  
見地(ふだんでは見ら  
れない松の根の張り方  
などを子ども達に見せ  
る)からも大切なこと  
です。

是非、  
一部残したいものです。



### 編集後記

リバーズ委員の皆様のご協力により、フォーラムが成功裡に  
終了出来ましたことに感謝いたしております。ほつと一息つく  
まもなしに、第2段のリバーズ便りの発行に奔走しておりま  
す。今回のリバーズ便りの編集に、井村和子様にご協力頂き  
感謝申し上げます。  
尚、天橋立名松リバーズ 0号 及び 1号(一言メッセージ  
ジ第一部含む)共に、事務局にありますのでお問い合わせく  
ださい。